

■ 学校の共通目標

授業作り	<p>重点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力向上のため、ICT 機器を効果的に活用して個別最適な学習を推進し、基礎・基本の定着を図る。 ・授業ではめあてを明確にし、振り返りをしっかり行うことで、学習への動機を自分で意識し、主体的に学習に取り組めるようにする。
環境作り	<ul style="list-style-type: none"> ・「愛日スタンダード」を基にして、学校として同じ方向を向いた学習指導・生活指導の徹底を行う。 ・hyper-QUの活用等による児童理解をすすめる。 ・ユニバーサルデザインを意識した教室掲示等、全校で統一した環境づくりを行う。

■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		<p>国①聞く力・姿勢を伸ばし、自分の考えを相手に伝える、相手の話を最後までしっかり聞く、自分の思いをはきはきと話すことができるようにする。</p> <p>②文字や文章を流暢に読めるようにする。</p> <p>算③具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方を十分に理解し、正確に計算できるようにする。</p>	<p>①ペアトーク、聞き取り活動。</p> <p>②継続した音読指導。</p> <p>③具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて自分の考えを表現し、友達と学び合う。</p> <p>③基礎的な計算練習。</p>
2 学 年		<p>国①読書活動を充実し、語彙力の向上を図る。</p> <p>②自分の思いや考えが明確になるように簡単な構成や内容のまとまりを意識し、工夫して書いたり話したりすることができるようにする。</p> <p>算③具体物や図などを用いて、数の表し方や計算の仕方を十分に理解し、正確に計算できるようにする。</p>	<p>①読書活動の充実。</p> <p>②自分の思いや考えを表現する活動の充実。</p> <p>③具体物、図、言葉、数、式、表、グラフなどを用いて友達と互いに自分の考えを表現し伝え合ったり学び合ったりする。</p> <p>③基礎的な計算練習。</p>

		④数量や図形に進んで関わり、生活や学習に生かすことができるようにする。	④活用場面とつなげて考えたり、生かしたりできる場の設定。
3 学 年	<ul style="list-style-type: none"> 既習漢字を活用する意識の向上と、新出漢字の習得が必要。 語彙力を高めて、言語感覚を豊かにしていくことが必要。 相手の意見や考えに耳を傾け、自分の考えと比較して相違点をとらえることが必要。 既習の学習内容の反復練習が重要。 自分の書いた文章を見返すときに他者意識をもたせることが必要。 算数の基礎的な学習事項についての反復練習が必要。 	<p>国①計画的に新出漢字の学習を行い、習得につなげる。漢字の読み書きに加え、筆順の定着を図る。</p> <p>②語彙力の向上と読解力の向上を図る。</p> <p>③自分の思いや考えを分かりやすく相手に伝えることができるようにする。</p> <p>算④数や図形、グラフなどに進んで関わり、学習に生かそうとすることができるようにする。</p>	<p>①1週間に学習する内容を児童の学習状況に合わせて設定する。加えて個に応じたデジタルドリルの活用。</p> <p>②図書の時間の活性化や、国語辞典の活用の強化。</p> <p>③相手や目的に応じた言葉の選択や、文章の組み立てに気を付けながら行うスピーチや短作文など表現活動の習慣化。</p> <p>④日常生活で数量を意識させたり、各教科で意図的に図形やグラフなどを活用させたりする場面の設定。</p>
4 学 年	<ul style="list-style-type: none"> 考えを相手に豊かに伝える語彙力の向上、伝えようとする意識の高まりが必要。 漢字など、既習の知識を活用する意識の向上が必要。 簡潔にメモする力の向上 話し手を見たり、反応したりして聞くことが必要。 素早く正確に解答する意識の向上が必要。 解答を見直す習慣の徹底が必要。 児童自身による躰きポイントの確認が必要。 既習内容の定期的な反復練習が必要。 	<p>国①自分の考えを、既習の表現技法や豊富な語彙、既習の漢字を活用して相手に伝わるように表現できるようにする。</p> <p>②話し手に向いて、頷いたり相槌を打ったりしながら聞くとともに、大切なことを簡潔にメモすることができるようにする。</p> <p>算③素早く正確に解答するとともに、見直しを習慣化できるようにする。</p> <p>④分からないことを分からないと自覚し、改善するために、自主的に反復練習できるようにする。</p>	<p>①読書活動の充実。</p> <p>①ノート指導の充実と、よいノートの紹介。</p> <p>②学習規律の徹底。</p> <p>②朝学習等でのメモの練習。</p> <p>③集中して解答できる環境づくり。</p> <p>③見直し時間の設定と声掛け。</p> <p>④めあての確認と振り返りの充実。</p> <p>④紙ドリルやデジタルドリルの有効活用。</p>
5 学	<ul style="list-style-type: none"> 語彙力の向上 自分の文章を読み返すことが必要。 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決める力が必要。 	<p>国①様々なジャンルの本に触れ、表現方法や語彙力の向上を目指す。</p> <p>②同じフレーズの繰り返しや主述のねじれを見つけるために、読み返すことを習慣化する。</p>	<p>①読書活動の充実。</p> <p>②推敲のポイントを示したカードの作成。</p>

<p>年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章をよく読み、問題に取り組むことが必要。 数字を丁寧に書くことの徹底が必要。 	<p>③毎日の気づきを自分の言葉で書き溜めておくことで、自分の引き出しを増やしたり、物を見たりする視点を養う。</p> <p>算④問題文の読み方を定着させる。</p> <p>⑤ノートのマス目を利用した、見やすいノート作りを意識させる。</p>	<p>③朝学習での作文。</p> <p>④問題文にラインを引く。</p> <p>④キーワードを取り出す。</p> <p>⑤ノート指導。</p>
<p>6 学 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 語彙力の向上 自分の考えを分かりやすく伝える力が必要。 内容を理解し、自分の考えと比べながら聞く力が必要。 文章をよく読んで問題をしっかりと理解する力が必要。 	<p>国①俳句、短歌、詩、読書、読み聞かせなど様々な種類の文章に触れ、語彙を増やしていけるようにする。</p> <p>②お互いの考えを話し合ったり、短い時間で書いたりする活動を計画的に行う。</p> <p>③主語と述語を意識して文章を書く習慣をつける。</p> <p>④内容を理解したり、自分の考えと比べたり、相槌を打ちながら反応したり、聞く力を伸ばしていく。</p> <p>算⑤正確さを意識させ、自分の書いた文章や解答を見直す習慣をつける。</p>	<p>①朝学習、読書活動の充実。</p> <p>①掲示など学習環境の充実。</p> <p>②めあてと振り返りの充実。</p> <p>③5分作文。</p> <p>④内容の一文まとめ。</p> <p>④ICTを活用した意見の交流。</p> <p>⑤キーワードなどにラインを引く。</p> <p>⑤少ない問題数での計算練習。</p>
<p>特 別 支 援</p>	<p>（対角線あり）</p>	<p>国①語彙力の向上を図る。</p> <p>②正しい言葉の使い方や目上の人に対する言葉遣いができるようになる。</p> <p>算③文章の内容をつかみ、問題に答えたり、自分の考えをもったりすることができるようになる。</p>	<p>①国語辞典を自分で引けるようにする。また、普段の会話で出た言葉の指導。</p> <p>②学校生活の中で細かく指導。</p> <p>③文に出てくる言葉の意味を確認。</p> <p>③マーカーや ICT 機器の活用。</p>